

令和4年度 鳥取県等事業

YouTube
配信

地域づくり関係
助成事業 説明会

「助成金・補助金の考え方&活用について」 【三二講座】

令和4年3月16日（水）14:00~14:20
オンライン（Webex）開催



公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
椿 善裕

2022/3/14

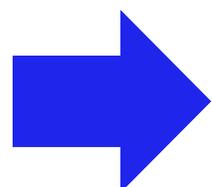
1. 確認しましょう
2. 募集要項をよく読みましょう
3. 審査する側に立ってみましょう
4. 余裕を持って申請しましょう

そもそも「助成金」「補助金」とは？



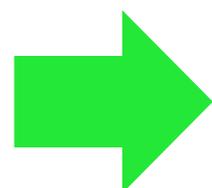
助成金

事業の完成や成果を生み出すことを助けるお金

 どんな事業を行うかが大切

補助金

行政上の目的のために、団体の不足分を補うお金

 行政上の目的を理解することが大切

そもそも「助成金」「補助金」とは？



■ 「助成金」「補助金」の基本的な捉え方

- ▶ 自分たち（団体）に出してくれるお金ではなく、事業や活動に対するお金
- ▶ 資金が足りないから出してくれるのではなく、事業の成功や成果を生み出すことを助けるためのお金
- ▶ 日常的に困っていることに対して出してくれるお金ではない（例／人件費、事務所賃借料、通信費など）
- ▶ この先もずっと応援してくれるお金ではない

そもそも「助成金」「補助金」とは？



■ お金を出す側の目的や期待

◆ 目的を達成するための投資

- お金を出す側にもそれぞれの（存在）目的がある
- その（存在）目的を達成するために、お金を出す（助成する・補助する）という手段を使う

◆ 団体や地域は目的を達成するためのパートナー（協働）

- お互いに資源（手段、強み、ネットワーク）を持ち寄ることで目的達成を目指す
- パートナーだからこそ慎重に選ぶ（審査会で審査）

そもそも「助成金」「補助金」とは？



■ 助成金・補助金のピークは年2回

【締切りベース】

- 募集締切りのピークは春（5月～6月）と秋（10月～12月）
 - ・ 行政系補助金は春が多く、民間助成金は秋が多い傾向

3月～4月

行政系の補助事業申請にむけての準備／申請書作成

5月～7月

次年度の事業の構想（計画）を練り始める

8月～9月

民間助成金の申請に向けた準備／申請書作成

10月～12月

1月～2月の地方や中小規模の民間の助成金申請の検討・準備／申請書作成

1月～2月

年度の振返り／次年度に向けての計画・情報収集（助成金・補助金）

1. 確認しましょう

■今一度、
本当に「助成金」「補助金」が必要かどうか**確認**してみる

「助成金」「補助金」の獲得はあくまで通過点
その後の活用が重要

- お金以外の手法で出来ることはないかの**確認**
- やるべきことの優先順位の**確認**
- 実施する事業のスケジュールの**確認**
- そのスケジュールに間に合う&要件を満たし、活用でき
そうな助成金、補助金があるかどうかの**確認**

2. 募集要項をよく読みましょう

■ 募集要項の熟読具合が、結果を左右する・・・
かも。。

◆ どのような要件なのか確認

- 助成制度の概要（目的やレベル）を把握する
- 対象なのか、対象外なのか
- 制約条件を確認する

◆ ねらいや好みを知る

- 趣旨や審査基準などで、お金を出す側のねらいや好みを知る
- 過去の実績を把握する
- 記入例や手引き、Q&A集はヒントの宝箱

2. 募集要項をよく読みましょう



■趣旨と審査基準

令和3年度とっとりSDGs推進補助金（広報活動支援型） 募集要項

1. 趣旨

SDGsの理念に沿った非営利公益活動団体が自ら行う広報活動への支援を行うとともに、広く県民の非営利公益活動の理解や活動への参加を促進することを目的として、本補助金を交付します。

- 〈審査基準〉
- ①団体が取り組んでいる事業がSDGsの理念に沿った公益的な活動であること。
 - ②事業を通して、誰にどうやってどのような情報を届けたいか明確であること。
 - ③事業を実施する能力（体制、組織、関係機関との協力等）が認められること。

2. 募集要項をよく読みましょう

■ 趣旨と審査基準

令和4年度 令和新時代創造県民運動推進補助金（スタートアップ型）募集要項

和4年2月定例会における予算の成立を条件とします。

1 趣旨

住民団体、NPO、企業、商工団体及び青年団体など多様な主体による、県内で地域をより良くするために自ら取り組む様々な地域づくり活動を支援するため、「令和新時代創造県民運動推進補助金（スタートアップ型）」（以下「本補助金」という。）の交付を希望する団体を募集します。

【対象となる活動】

次のような事業を主体的に行うことにより地域の活性化を図る活動

- 地域資源を生かしたまちづくりを図る事業
- 伝統・文化の保存や活用を図る事業
- 自然環境や景観保全を図る事業
- 安心・安全な地域づくりを図る事業
- 福祉・健康づくりを促進する事業
- 地域内、地域間交流・人材育成を促進する事業 など

【対象とならない活動】

- 単なる文化講演会、音楽鑑賞会、スポーツイベント等の事業
- 県外のみで実施する事業

(4) 審査について

各募集期間終了後に審査を実施し、審査員の協議により補助団体等を決定します。

ア 審査の時期（予定）・・・1次募集分：4月下旬、2次募集分：7月中旬、3次募集分：10月中旬

イ 実施方法・・・「5 応募及び審査」の提出書類による書面審査

ウ 審査基準・・・「地域性」、「公益性」、「計画の実現性」、申請区分に応じた「個別項目」等の観点に重点を置いて審査します。

エ その他・・・県の施策に連動した取組で喫緊に対応することが有効な場合、「2 募集期間及び補助対象期間」の定めに限らず審査を行う場合があります。

3. 審査する側に立ってみましょう

■ お金を出す側・審査する側に立ってみる

申請書

申請書は「書きたいことを書く」書類ではない

「聞かれていること・求められていることに答える」書類
どの審査基準に沿った内容であるか、審査員に伝わるような
申請書の作成を！

こちらが「伝えたいこと」ではなく、
相手が「知りたいこと」を意識する

どんなにいい事業（だと思っても）でも、お金を出す側の
目的とレベルがかみ合わないと採択に至らない

3. 審査する側に立ってみましょう

申請書作成するうえでのポイント

①書式を守る

文字数の制限がある際はその中で納める
勝手に加工しない

②なるべく簡潔／シンプルに

美しい表現や、感動的な文章は必要ない

→外部審査員は限られた時間に、多くの申請書を丁寧に
読み審査をする（・・・恐らく大変な作業）

審査員全員、その分野の専門家ではない

（「分かってもらえるはず」・・・ではなく、

「分かってもらうためには」の意識）

3. 審査する側に立ってみましょう

申請書作成するうえでのポイント

④実現性の高い解決策を丁寧に

地域課題の羅列やアツい想いをぶつけるだけではダメ
助成金・補助金の活用により、「何が」「どう変わる」か変化を見せる

⑤ストーリーと根拠

「課題→その原因分析→課題の解決・改善策」を数値や統計などの根拠を示しながらのストーリー

⑥予算に関すること

対象経費と対象外経費の確認は必須
分かる範囲で、可能な限り細かく記載

3. 審査する側に立ってみましょう

申請書作成するうえでのポイント

- ⑦事業計画とスケジュールと予算は連動してるか
連動していない場合、計画に無理がある可能性あり
(→審査基準に「実現性」「確実性」等があるとマイナス評価に)

- ⑧団体メンバー全員に共有する／他の団体など
外部の人にも見てもらう
誤字脱字の確認はもちろん、専門知識や先入観のない視点で
読んでもらうとより効果的

3. 審査する側に立ってみましょう

申請書作成するうえでのポイント

ロジック（筋道）
をしっかりと作る

- ⑤活動（「何を」するか）
- ⑥スケジュール
- ⑦予算
- ⑧人員体制／連携協力体制

① 課題

② 解決策

③ 成果

④ 展望

3. 審査する側に立ってみましょう

申請書作成するうえでのポイント



3. 審査する側に立ってみましょう

申請書作成するうえでのポイント

当ホームページからダウンロードした申請書に必要な事項を記入のうえ、「申請・お問い合わせフォーム」から申請してください。

申請書ファイル

「申請書」の作成にあたっては、「募集要項」、「記入の手引き」、「記入例」をご確認ください。

申請書

申請書 (Excel版 Excel2007以降に対応) ダウンロード
本助成金に対するアンケートへのご協力をお願いします。

記入の手引き

記入の手引き (PDF版) ダウンロード

記入例

記入例 (PDF版) ダウンロード

募集要項 (印刷用)

募集要項 (PDF版) ダウンロード

<https://www.mcfund.or.jp/jyosei/2022/no20/requirements.html>

4. 余裕を持って申請しましょう



■ 期日に余裕を持つメリット

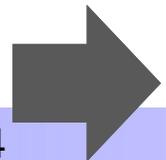
締切り間近に募集要項や申請書を取り寄せているようでは遅い

 一夜漬けの申請書は、審査員の皆さんは見抜く→マイナス評価

事前相談

ほとんどの助成金・補助金は、事前相談にのってくれる

- 分からないこと、不明なことを確認
 - ・ 募集要項をよく読んでも分からないこと、不明なことの確認
 - ・ 審査の基準の意味を知る
- 関係構築の機会
 - ・ 申請書だけでは伝えきれない情報、印象を与えられる機会
 - ・ 申請に関すること以外での情報交換の機会
 - ・ 今後、何かで役立てることのできる関係構築のチャンス



これも時間に余裕があるから出来ること

4. 余裕を持って申請しましょう



事前相談

■相談する前にしておくべきこと

- ▶ 事前に募集要項を読み込んでおく
 - 募集要項に書かれていることを相談してしまうと、マイナスの印象を持たれかねない
- ▶ 相談をする内容を整理しておく
 - 聞き忘れ防止のため
 - 回答をすぐに記入できるように
 - 要望のようなことは控え、確認を中心に据える



締切り間際の相談は控えましょう！

結果が「不採択」だったら・・・

■ 振返り（検証）は必要ですが、気にしすぎない

- ▶ 団体や事業・活動の否定ではない
- ▶ ヒトと一緒に相性が合う・合わないということもある

■ せっかくなので「不採択」の理由を聞いてみる（確認しておく）

- ▶ 不採択の理由を教えてくれないところもある
- ▶ 団体の成長のため
 - ・理由が分からないと、どこを改善すればいいか分からないまま
 - ・また同じ失敗を繰り返してしまう恐れ

■ 採択率は概ね3割（民間助成金）

- ▶ 6割の確率で不採択（プロ野球で3割打てば一流）

■公開されている「助成金・補助金の手引き」「Q&A集」「申請書」などから学ぶ

- ▶独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部
→https://yumekikin.niye.go.jp/download/boshu_koufu.html
- ▶独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金
→<https://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/>
- ▶独立行政法人福祉医療機構 WAM
→<https://www.wam.go.jp/hp/cat/wamjosei/>



■公開されている「助成金・補助金の手引き」「Q&A集」「申請書」などから学ぶ

第1章 助成を受ける前に

1	基本的な手続きの流れ	1
2	助成の諸手続きに関する留意事項	4
3	助成金により購入した物品等の取扱い	6
4	地球環境基金広報へのご協力をお願い	9

第2章 内定から交付決定まで

1	内定から決定までの流れ	1 1
2	一部概算払いについて	1 2
3	交付申請に関する手続き	1 3
4	交付申請内容に変更が生じた場合	3 6

第3章 助成金の申請を行う

1	支払申請	3 8
2	支払申請 Excel ファイルの使い方	4 3
3	海外での活動等における外貨の処理	5 0
4	助成対象経費の区分、費目別上限単価、証ひょうの記載例	5 1
①	賃金	5 6
②	謝金	6 1
③	旅費	6 5
④	物品・資材購入費	8 0
⑤	借損料・役務費	8 5
⑥	事務管理費	1 0 8

第4章 活動の報告と次年度の要望書について

1	要望書	1 0 9
2	実績報告書	1 0 9
3	活動報告会	1 1 1

第5章 活動の評価について

1	評価の位置付け	1 1 2
2	評価の流れ	1 1 4
3	活動評価に係る費用の取扱い	1 1 5

第6章 各種様式集

2021 年度地球環境基金助成金支払申請書	1 1 7
支払内訳表	1 1 8
書類明細表	1 1 9
概算払い支払申請書	1 2 0
助成活動計画変更承認申請書	1 2 1
変更内訳表	1 2 2
変更届	1 2 3
実績報告書	1 2 4
(参考) 取得財産・残存物件管理台帳	1 3 3
(参考) 助成金の収入支出帳簿	1 3 4
(参考) 助成金の収入支出帳簿記載例	1 3 5

こんなときどうする？

成果物の二次利用	8
計画変更手続き	3 6
その他の変更手続き	3 7
領収書	3 9
クレジットカードでの支払	3 9
立替払い領収書	4 0
キャンセル料金について	4 2
トラブルシューティング	4 8
常勤と非常勤の違い	5 8
ETC を利用した場合	6 7
会場費を事前に支払った場合	8 5

■毎年、団体独自の「助成金カレンダー」を作成してみる

- 募集期間は毎年、大体同じ時期
- 事前にスケジュールを把握できるので余裕を持てる
- それぞれの助成金・補助金の性格を把握できる
- 団体の年間の事業計画に照らし合わせることが出来る

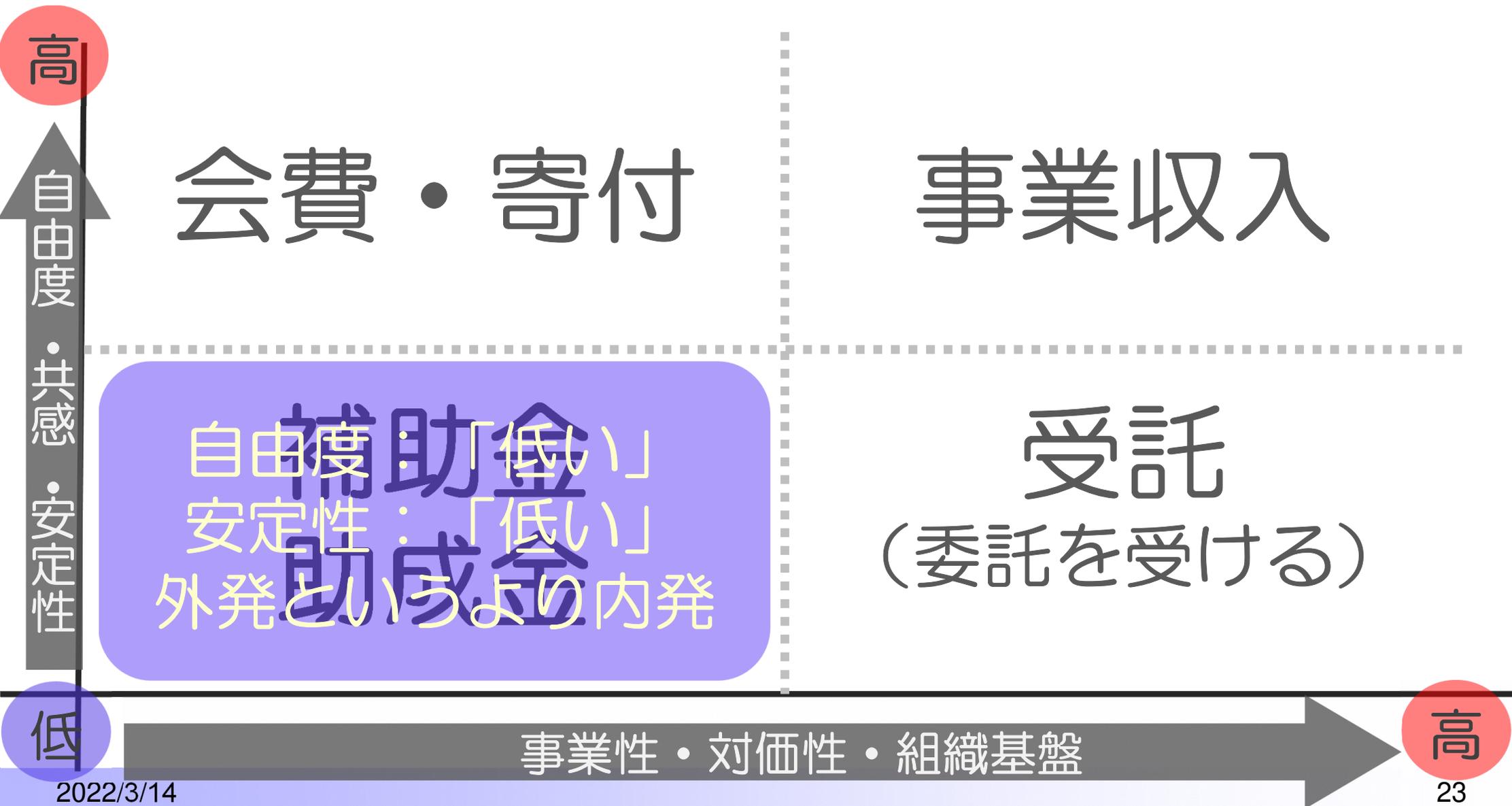
■地域づくりにおいて押さえておくべきワード

- SDGs
- 社会的インパクト評価
- ロジックモデル
- アウトプット・アウトカム

■ネット申請への対応

- インターネットでの申請しか受付けないケースも増えている

団体（非営利組織）の資金源



皆さまの活動や事業により、
よりよい地域づくりが推進されることを
心より願っています。
ご清聴、ありがとうございました。